

ご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の
派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

平成 24 年度研修

鋼橋設計・施工

— 基本技術から最新の技術まで —

共 催 一般社団法人 日本橋梁建設協会
一般財団法人 全国建設研修センター
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

本研修では、鋼橋の計画・設計・製作・架設・維持補修等の鋼橋技術全般にわたり、経験豊富な第一線で活躍されている技術者(講師)の方々による実践的で、わかりやすい講義を行います。

今年度は、新たな科目として、「積算」の講義時間を設けました。

最新の鋼橋に関わる技術を短期間に修得することができ、鋼橋建設業務に携わる職員の皆様には大変有意義な研修となっております。

また、全国から集まる実務担当者との相互交流、情報交換の貴重な機会としても大変好評です。皆様のご参加をお待ちしております。



斜張橋主桁の架設



大宮ほこすぎ橋 (埼玉県)

※(一社)日本橋梁建設協会より提供

【期 間】 平成25年2月6日(水)～2月8日(金) 3日間

【場 所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館
〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2
TEL:042-324-5315 FAX:042-322-5296

*当センターホームページよりインターネットで研修の申込が出来るようになりました。

※ (一社)建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム

※ (一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム

平成24年度研修「鋼橋設計・施工」実施要領

1 目的

鋼橋の設計・計画のポイント、鋼橋の製作、補修・補強事例など鋼橋の設計・製作・架設・維持補修等に関する基本から最新の技術まで総合的な知識を短期間で修得する。

また、共同生活による相互啓発、相互交流、情報交換等を通じて、職場における業務の推進に資するものとする。

2 対象職員

橋梁の計画・設計・製作・架設・維持補修等に携わる職員

3 募集人数 40名

4 研修期間

平成25年2月6日(水)～平成25年2月8日(金) 3日間
全寮制(通学を希望される方はご相談ください)

5 集合日時及び場所

2月6日(水)8時45分までに、研修会館にご集合ください。

※ 前日宿泊を希望される方は、21時までにご入館ください。

6 申込先及び問い合わせ先

〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2

(一財)全国建設研修センター 研修局 (担当:松本、永見)

※ 申込みはインターネット、郵送、FAX、メールいずれでも受け付けております。

メールで申込みをする場合は、申込書フォームをメールでご請求ください。

TEL:042-324-5315 FAX:042-322-5296 mail:uketuke@jctc.jp

7 研修経費及び納入先

(1) 研修経費(1人当たり・消費税含む)

① 研修会費：68,000円

② 宿泊費：5,800円(2泊分) ※前日宿泊の場合は、1泊分(2,900円)追加になります。

③ 合計：73,800円

(2) 研修経費納入先

三菱東京UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.0000316

ザイ) センコケンセツケンジュセンター

一般財団法人 全国建設研修センター

フジタ コウゾウ

理事長 藤田 耕三

受講通知書到着後にお振り込みください。
振込手数料はご負担ください。
なお、経費別の納入及び当日持参も可

(参考) 食費は、研修会館内の食堂(土・日・祝日は休み)を利用する場合、

1日当たり1,400円(定食:朝400円、昼450円、夕550円)です。支払いは直接食堂へ。

8 申込締切日

平成25年1月18日(金) ※申込書にご記入のうえ、お早めにお申し込みください。

9 その他

(1) ご持参いただくもの(筆記用具、電卓、共済組合員証又は健康保険証、洗面用具、タオル類、スリッパ等の室内履き、着替え、雨具等)

(2) 研修会館に備わっているもの(浴衣、洗濯機、乾燥機、洗剤、石鹼、シャンプー、ドライヤー)

(3) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。

(4) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

平成24年度研修「鋼橋設計・施工」時間割

講義日時	教科目	講義内容	講師所属	講師名	
2/6 (水)	8:30～8:45 8:45～9:30	受付 開講の挨拶・オリエンテーション			
	9:30～10:50	鋼橋の利点、特長について・鋼橋へのアプローチ	鋼橋全般について、橋の分類・橋の名称・どのように作られているのかその過程や鋼橋の利点・特長などをわかりやすく紹介します。	宮地エンジニアリング株式会社 技術本部 技術部 技術グループ 担当課長 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 構造技術部会 委員	永谷 秀樹
	11:00～12:10	鋼橋に関する道路橋示方書の改定概要	平成24年に改定された道路橋示方書における鋼橋に関する改定内容のポイントと概要について説明します。	宮地エンジニアリング株式会社 技術本部 技術部 技術グループ 担当課長 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 構造技術部会 委員	
	13:10～14:40	鋼道路橋計画の手引き	鋼橋の形式選定に関する基礎知識について解説します。鋼橋の構造型式の説明について概要を説明します。	佐藤鉄工株式会社 橋梁技術部 橋梁設計グループ グループ長 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 構造技術部会 委員	佐狐 真一
	14:50～15:50	鋼橋の設計・計画のポイント	鋼橋に携わる技術者として発注前・後の諸問題を最小限とするために必要な基礎知識を、計画・設計上のチェックポイントについて基本的確認事項および不具合事例をもとに解説します。	佐藤鉄工株式会社 橋梁技術部 橋梁設計グループ グループ長 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 設計小委員会 構造技術部会 委員	
	16:00～18:00	鋼橋の製作	鋼橋の工場製作の工程の流れに沿って、施工要領、使用機材、品質検査等、必要な基礎知識について解説します。	JFEエンジニアリング株式会社 津製作所 製造部 計画室 室長 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 製作技術部会 部会長	高土 房伸
2/7 (木)	9:00～11:30	鋼橋の防食	鋼道路橋における代表的な3つの防食方法(塗装、溶融亜鉛めっき、金属溶射)について、その選定方法から特徴、製作施工方法に至るまでの基礎知識を中心に具体的に解説します。	日本車輛製造株式会社 輪機・インフラ本部 営業第二部 業務グループ 係長 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 防食部会 委員	千葉 徳光
	12:20～13:50	無塗装耐候性橋梁	耐候性鋼材の基礎から、適用事例、採用時の具体的な留意点等を解説し、さらに、最近の新しい技術を紹介いたします。	株式会社IHIインフラシステム 橋梁企画室 主査 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 製作小委員会 無塗装部会 委員	石本 圭一
	14:00～15:50	鋼橋の架設	鋼橋の架設工法について、現地状況に応じた架設工法の選定と、各工法における施工要領、施工上の留意点、架設機械、事故事例などを説明します。	三井造船鉄構エンジニアリング株式会社 建設本部 本部長補佐 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 架設小委員会 委員長	大下 嘉道
	16:00～17:20	鋼橋製作の積算	鋼橋製作の積算について、構成・要素等を解説し、積算上の留意点を説明します。	瀬上工業株式会社 営業本部 営業企画チーム 課長 一般社団法人日本橋梁建設協会 契約制度委員会 製作積算部会 部会長	松井 正男
	17:30～18:50	鋼橋架設の積算	鋼橋架設の積算について、架設積算の概要説明と積算例題を用いて留意点を解りやすく説明いたします。	川田工業株式会社 橋梁事業部 積算室 次長 一般社団法人日本橋梁建設協会 契約制度委員会 現場施工積算部会 副部会長	島田 清明
2/8 (金)	9:00～10:30	鋼橋の床版	鋼橋で使用されるRC床版、PC床版、合成床版について、その概要、設計、施工、維持管理について説明します。	株式会社IHIインフラシステム 橋梁企画室 室長 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 床版小委員会 床版技術部会 副部会長	倉田 幸宏
	10:40～12:10	補修・補強工事における設計・施工の留意点	補修・補強工事の実態、施工事例、古い橋の特異点等を紹介し、補修・補強工事における設計および施工上の留意点を説明します。	片山ストラテック株式会社 工事本部 工事計画部 工事計画課 課長 一般社団法人日本橋梁建設協会 技術委員会 床版小委員会 床版技術部会 委員	寺田 能通
	13:00～14:30	東北地方太平洋沖地震における橋梁の被災状況および震災時における応急対応について	東北地方太平洋沖地震による橋梁の被災状況とともに、震災時における緊急・応急調査～応急対策までの一般的な流れ、考え方および応急復旧事例を説明、紹介します。	日本鉄塔工業株式会社 鉄構エンジニアリング部 部長 一般社団法人日本橋梁建設協会 保全委員会 保全技術小委員会 保全第一部会(関東) 委員	東 幹人
	14:30～14:40	閉講式		横河工事株式会社 保全事業本部 工事一部 計画積算グループ 課長 一般社団法人日本橋梁建設協会 保全委員会 保全技術小委員会 保全第一部会(関東) 委員	柿沼 努

※教科目及び講師については変更することがあります。

